

Lesson 15 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回おうちでつくれる、木の良さをいかした作品を紹介していきます。今回の作品は、大きさの違う2つの引き出しがついた「二段引き出し(引き出し部分)」です。基礎知識は、「引き出し部分の構造」について教わります。

◇二段引き出し(引き出し部分)◇

材 料

杉板 引き出し (大) 【A向板】 297×106×8×1 【B底板】 297×124×8×1
 【C側板】 108×106×8×2 【D前板】 297×106×8×1
 引き出し (小) 【E向板】 297×62×8×1 【F底板】 297×124×8×1
 【G側板】 108×62×8×2 【H前板】 297×62×8×1

スリムビス16ミリ48本、木工用ボンド、紙やすり (180番)

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

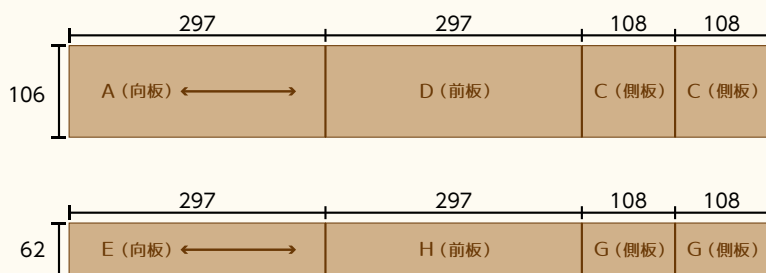
お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。

※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています。

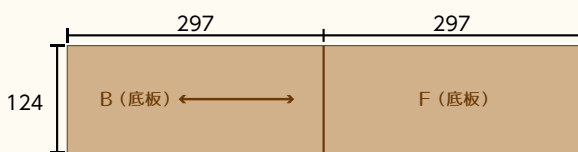
道 具

ドリルドライバー、ドリルビット (2ミリ)、ドライバービット (+1)、定規、スコヤ、キリ、ヘラ (ボンド用)、塗装用スポンジ、木杵や捨て板等

木取り図 単位：mm (ミリ)



※写真左側の二段引き出しを2回にわたって紹介します。

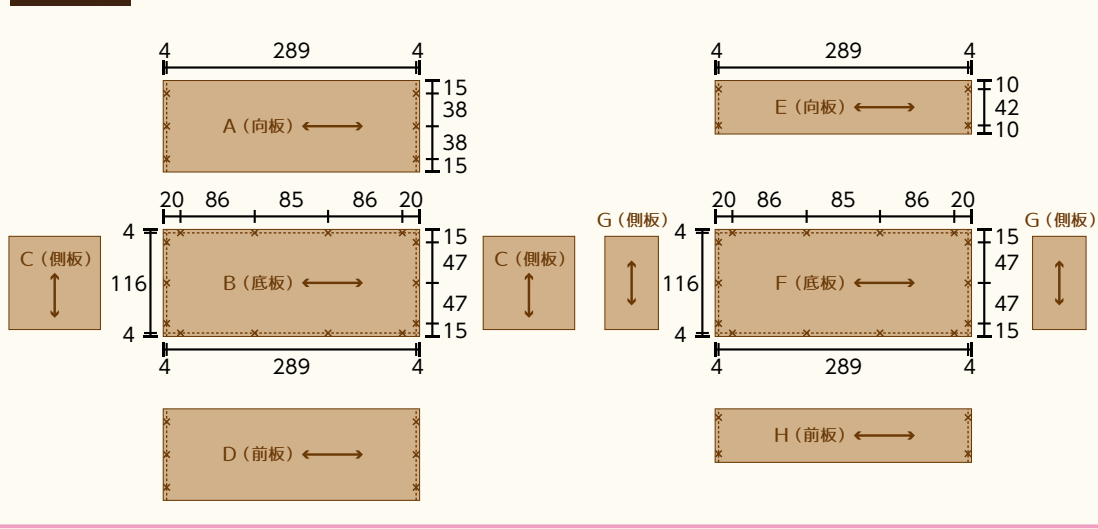


× スリムビス16mmのビス位置
 下穴・ビス位置・合わせ位置をつけるためのえんぴつ線
 ←→ 木目の方向

完成図



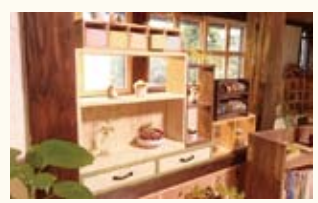
加工図 単位：mm (ミリ)



スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーパリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住 所 伊賀市笠部 533
開講時間 火曜・土曜 13:30~17:00
 ※応相談。要電話予約
TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方



①印をつける
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。



②下穴をあける
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。



③組み立て
接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビスどめします。組み立ての順番は次のとおりです。



③(1)D前板に2枚のC側板をつけます。



③(2)〈1〉にA向板をつけます。



③(3)〈2〉にB底板をつけます。



同様の手順で2つの引き出しを作ります。



④やすりがけ
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。



⑤塗装
スポンジを使って塗料を塗ります。少量ずつ塗り重ねるとよいでしょう。



⑥金物をつける
引き手をつけたい位置に置いて、ビスの中心をキリで強く突き、手回しドライバーでビスどめします。

金物に付属しているビスの十字を傷めないよう、手回しドライバーを使いましょう。



楽しみですよ

今回は外枠部分を作ります。



おすすめディスプレイ



今回作ったのは引き出し部分だけですが、このように植物や雑貨を入れて、OPENIに飾ってもよいですね。引き手を変えると作品の雰囲気も変わるので、お好みのものをさがしてみましょう。



講師紹介
スマイルウッド代表
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという思いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

今回の基礎知識！ 【引き出し部分の構造】

おうちではじめるDIYでは、木工初心者の方にも簡単に木のものづくりをお楽しみいただけるように、作りやすい形のものを紹介していますので、今回の引き出しは前板と向板で側板をはさむ構造になっています。

より精密な作りをしたい場合は、向板を側板ではさんで5ミリ程内側につける形に設計しておく、出代を調整しやすくなります。いろんな構造の引き出しにチャレンジしてみてください。

